

医療者と患者の目線で

私は今年2月10日より約1ヶ月間、魚沼基幹病院（南魚沼市）にて総合診療の実習をさせていただきました。

本実習を通じて、現場では総合診療の枠にとらわれない幅広い視点を持ち、実践されている姿を拝見しました。それは、患者さんの総合的な「治療」、急変時の総合的な「対応」、そして表題にもありますとおり、総合的な「目線」です。特に「目線」については、課題を解決するうえでどの視点を重視すべきか、どの考え方が患者さんの目的により適しているかを議論する中で体験させていただきました。

また、私の希望に沿った柔軟な実習をさせていただき、心より感謝申し上げます。忘れられない経験を積むことができたとともに、日々の学習では得られない緊急時の現場を体感する貴重な機会となりました。

魚沼基幹病院の各診療科の先生方には大変お世話になりました。適切にご指導を賜り、誠に感謝申し上げます。特に研修医の先生方とともに診療に携わることができた経験は、私の中で深く印象に残っております。

末筆ながら、魚沼基幹病院にて実習の機会を頂戴しましたこと、改めて心より御礼申し上げます。